

令和6年度6月補正予算（案）の概要

1. 予算編成の考え方

- 液状化対策に係る地方単独事業に対し、特別交付税による財政支援が決定されたことを踏まえ、市町村と連携して取り組む、宅地液状化等復旧支援事業を創設
- 観光庁事業を活用し、地震の影響で部分開通となっている黒部峡谷鉄道や宇奈月温泉において、震災からの復興につながる新たな魅力を創出

2. 予算の規模等

一般会計6月補正予算案額(追加提案分)

11億9,500万円

〈一般会計〉

(単位:百万円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			
		国支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	618,808	60,046	44,663	120,700	393,400
補正予定額	1,195	40			1,155
合 計	620,003	60,086	44,663	120,700	394,555

宅地液状化等復旧支援事業

地震により液状化被害を受けた宅地の復旧を支援することで、被災者の生活再建を後押し

支援対象

液状化被害を受けた宅地の所有者等

（準半壊以上、液状化で相応の被害が認められる場合は一部損壊についても対象となる場合あり）

補助額等

- ・工事費上限：1,200万円（補助対象は工事費から50万円控除）
- ・補助率：2/3（県1/3、市町村1/3）
- ・補助上限：766.6万円 ※「安全・安心とやまの住まい耐震化等促進事業」（補助上限120万円）との併用可能。
（宅地等の復旧と住宅の耐震化との区分けが可能な場合）

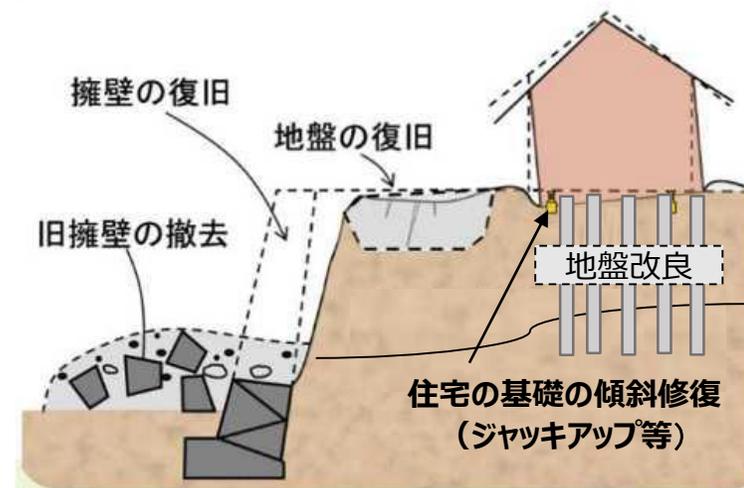
対象経費

- ①復旧：被災宅地の原形復旧を基本とした工事（擁壁、地盤の復旧など）
- ②地盤改良：液状化の再度災害防止のための地盤改良工事
- ③傾斜修復：沈下又は傾斜を修復する工事（ジャッキアップなど）

予算額

11億5,000万円（財源：一般財源（財政調整基金））

※特別交付税の措置見込（8割）



インバウンド誘客の推進

インバウンド等に対応した黒部・宇奈月魅力新発見事業 4,500万円

観光庁の「特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質の向上推進事業」を活用し、能登半島地震の影響で部分開通となっている黒部峡谷鉄道のインバウンド需要を創出するための付加価値の高い観光コンテンツを造成

また、黒部宇奈月キャニオンルートを開始延期を受け、同ルートの体験を臨場感をもって味わえる映像コンテンツを宇奈月温泉周辺で提供し、機運を醸成



黒部峡谷トロッコ電車



宇奈月温泉街